

2019年11月28日(木)

「2020年度 卒業ゼミナール1配属」において
小宮山研究室を志望して下さった皆さん

配属選考過程について

小宮山研究室を第一志望にしてく下さった 16 名の方の志願書を拝見いたしました。例年以上にどの方の研究計画も素晴らしく“皆さんと一緒に研究したい”と思いました。小宮山研究室をよく知る卒業生にも皆さんの研究計画を見ていただく機会があったのですが、全員のレベルの高さにとても驚いていました。その卒業生も私と同意見で、どの方もきっと良い卒業論文を執筆すると思うとコメントしてくれました。しかし「最大 11 名」という定員があり、とても残念ですが選考しなければなりません。

私の Web ページ・ゼミナール紹介に記された定員超過時の選考方法に従い、志願書の研究計画（「問いを見つける構想力・斬新な仮説を導き出す独創性・検証方法に関する応用力・結論を導き出す論理的思考力」の 4 点）で選考させていただきました。

いずれも基準以上でとても悩みました。わずかに仮説の独創性や問いの構想力で差がみられ 11 名を選ばせていただきました。しかし限られた時間内では“たまたま”アイデアを出し切れない、またはまとめきれなかったこともあったのではないかと感じました。それは決して能力の差ではないと思います。卒業研究ならば一年間、じっくり考えられ、また繰り返し、教員そして他のゼミのメンバーとコミュニケーションがとれるので、16 名の方、全員必ず素晴らしい研究をして下さると確信しました。

16 名全員の、それぞれの研究室における、これからの成長、そして卒業後の活躍、そしてゼミ以外でも皆さんと一緒に学修できる機会に恵まれることを切望しております。

経営情報学部 小宮山智志